



♪ もうすぐ春ですね ♪

「春は 名のみの 風の寒さやー」(早春賦そうしゅんふ)

「ツクシの子が はずかしげに 顔を出しますー」(春一番)



今年もあっという間に3月になり、6日は「啓蟄」(けいちつ)でした。「冬ごもりから目覚めた生き物が、穴を開けて顔を出すころ」という意味で、暦の上ではもう春です。先日、自宅近くの山から鶯(うぐいす)の初鳴きが聞こえました。気温の上昇とともに、土筆(つくし)も生え、「三寒四温」を実感するこの頃です。

そんな季節の中、5・6日(火・水)には県立学校の一般入試が行われ、東中からも3年生52名が受験して自分の力を出し切りました。それぞれの「志望校合格」という喜びの「15の春」を迎えてほしいとみんなで願っています。

東中へ絵画寄贈

2月12日(金)に、高鍋町の画家・石井 秀隣 様から「絵画を通じて生徒の感性を磨いてほしい」との思いで、油絵2点「魚碑」(50号)と「兆し」(100号)を寄贈していただきました。今回の寄贈は、石井さんが中学3年生の頃に、現在の高鍋東中の校舎に1年間通学したことの縁と自身の画家としての活動70年を記念してのものです。

「魚碑」は生命の尊厳や美しさなどが描かれ、美しいブルーの色彩が目をはくもので、校長室に飾ってあります。

「兆し」は白色をベースに、世の中に希望の光が差しつつあるイメージが表された作品で、生徒がいつでも鑑賞できるように渡り廊下に掛けてあります。

今回、このような貴重な絵画を寄贈していただいた石井様に心から感謝いたします。



東小を訪問

2月8日(金)に2年3組(36名:児玉 姫乃 学級委員長)と応援団長(2組:小松 雄音 くん)で、立志式を見事に成功させた2年生を代表して、高鍋東小学校を訪問しました。目的は、小学6年生に、中学校で取り組んでいる活動に実際にふれてもらい安心して入学してきてほしいというものです。初めに合唱コンクールの課題曲「歌え・歌え」を披露したのち、日頃の「あいさつ」や「東中校歌」の練習を一緒に行いました。校歌の練習では、さすが合唱コンクール優秀賞の響きと、山口 り久 くんと佐藤 瑛祐 くんの独唱もあり、6年生も驚きの表情を見せていました。また、応援団の迫力をしっかりと伝えることもでき、小学生・中学生ともに大変有意義な時間となりました。

「元気があって、礼儀正しい東小6年生」という印象を受けました。4月の入学を楽しみにしています。



西都市合唱祭へ参加

3月2日(土)の午後、第10回西都市合唱祭に高鍋東中学校合唱団(60人)が参加しました。今回が初参加の1・2年生もいましたが、いつもの感動と聞き惚れてしまう合唱は健在でした。急きょ指揮をすることになった西吉菜汰マエストロもさすがの指揮者ぶりでした。

短い練習時間で、あれほどの合唱を魅せてくれる合唱には、これまで受け継がれてきた東中の歴史を感じました。

引率・指導をされた田邊先生、上中別府先生ともに大感動だったようです。最後尾の席で涙を流しながら聴いている平田由美子先生の姿が印象的でした。

